

特集

瀬戸で見つけた ヒュッゲな暮らし

私たちの住む瀬戸市は、自然に囲まれ、連綿と続くやきもの文化の息づくまちです。

そんな瀬戸市に移り住んで、瀬戸を好きになって、子育てをしながら心豊かに暮らす家族がいます。

2つの家族の温かな暮らしをご紹介します。

問 シティプロモーション課 ☎88・2530



自然が豊かで 歴史あるまち「瀬戸」を とても気に入りました。

岡田さん一家は瀬戸市に住んで4年目になります。瀬戸市に引っ越してくる前は、名古屋市に住んでいました。

「家を探していた時、初めは別の地域を考えていましたが、なかなかいい場所が見つからず悩んでいると、不動産屋さんから瀬戸市はどうでしょう、と言われました。その時は瀬戸市と聞いてもあまりピンと来なかったのですが、何度か瀬戸市に足を運んでいるうちに、自然が多く子育てをするのにとても良い環境だと思いました。」と美知さんは話します。

隆志さんは「私たちは全く瀬戸市にゆかりがないので、正直あまり知らなかったのですが、住んでみたら理想どおりという感じでしたね。」と、瀬戸での暮らしに満足しているようです。

ヒュッゲ HYGGE とは

デンマーク語で「温かな居心地のよい時間や空間」という意味の言葉。北欧の心地よい時間を楽しむライフスタイルが、世界から注目を集めています。

南公園にて撮影

移住されたご家族の瀬戸市での暮らしを紹介します。

市では、昨年度「せとまちブランディング戦略」を策定し、瀬戸市の魅力として「自然と共生しながら育まれてきたものづくり文化」や「やきものづくりとも深く関わってきた里山・自然」を発信してきました。今年度からはさらに、「子ども・子育て」や「教育」を含め、瀬戸市ならではの魅力をプロモーションし、市民の誇りと愛着（シビックプライド）の醸成と認知度の向上を図っていきます。

こうした取り組みにより、住みたい・住み続けたいという人を増やして定住促進につなげ、第6次瀬戸市総合計画の将来像「住みたいまち 誇れるまち 新しいせと」の実現を目指します。

今回の特集では、あらためて瀬戸市の魅力を知っていただけのように、移住されてきたご家族の視点で、瀬戸市での暮らしを紹介していきます。



一家そろってのご自宅での様子。

岡田さん一家



なかしさんと美知さんご夫妻と、陸杜くん(小4)、脩杜くん・彩ちゃん(小1)、袖杜くん(2歳)。隆志さんと美知さんの出身はそれぞれ鳥取県と奈良県。



「子どものころに遊んでいた環境」が
瀬戸に決めたキーワード。

もともと自然の多い環境で子育てをしたいと思っていた岡田さん夫妻。瀬戸市に来てみたら、自然が多く、自分たちが子どものころに遊んでいた環境と似ていると思ったそうです。「以前住んでいたところは都会で便利でしたが、車がたくさん走っていたり、子どもが遊べる場所が少なく、子育てにはあまり向いていないと感じていました。瀬戸市は子

どもが自然とふれあいながら成長でき、無料で遊べる施設もあってとても助かっています。」と美知さん。

また、隆志さんは「2020年には小中一貫校ができて、ちょうど通学することになるエリアです。きれいな校舎になって友達も増えるので、子どもたちも楽しみにしています。」と話しました。

せとっ子ファミリー交流館は、お子さんの年齢に合わせて部屋が分かれており、成長に合ったおもちゃや遊具が置いてあります。2歳児から未就園児が対象の「うさぎ」の部屋では、ボールプールやすべり台、車や電車のおもちゃなどで自由に遊ぶことができます。紬杜くんは、おままごとが大好き。お父さんとお母さんにおもてなしをしていました。

就学前のお子さんが遊べる「ぱんだ」の部屋では、「うさぎ」の部屋よりも本格的なおままごとセッ

トや、絵本、パズル、大きなブロックなどが並びます。また、ドレスなどのかわいいお洋服もずらり。お着替えして遊ぶことができます。美知さんは「もう小学生になったので入れなくなりましたが、娘が小学生になる前はここでかわいい服を着ることができて喜んでいました。女の子には嬉しいですね。」と笑顔で話しました。紬杜くんはここでもおままごととに夢中です。準備ができたなら、お父さんお母さんと一緒に、いただきます!



隆志さんが紬杜くんに読み聞かせ。とても嬉しそうです。

年齢に合った部屋と
成長に合ったおもちゃや遊具が充実。



せとっ子
ファミリー交流館



お子さんが4人の岡田さん一家。普段、どんなところでお子さんたちと遊んでいるのでしょうか。

「せとっ子ファミリー交流館は、一番よく利用します。いろいろな年齢の子どもが楽しめるので、生活の一部として利用しています。何より、無料なのが嬉しい!こういう施設は、他ではなかなかないと思います。」と美知さんが語ってくれました。せとっ子ファミリー交流館の他にも、せとクルランド(交通児童遊園)やノベルティ・こども創造館なども利用しているそうです。



南公園

緑あふれる公園が、家族で過ごす休日の時間を豊かなものにしてくれる。



岡田さん一家は、天気の良い日は南公園でピクニックを楽しんだり、夏には岩屋堂公園や市民プールに遊びに行くことも多いそうです。家族みんながそろくと、とってもにぎやかです。南公園で、陸杜くん・脩杜くん・彩ちゃんも芝生を元気に駆けまわります。「南公園にはよく来ます。近くにこういう大きな公園があって、いいところだなと思います。」と隆志さん。



やきもの好きの美知さん。歴史を感じさせる瀬戸の窯にも魅力を感じています。

作家さんとの距離が近いのも、瀬戸のいいところ。

もともと美知さんはやきものが好きだったこともあり、ご自身のお母さんと一緒によくやきもの屋さんを訪れてお気に入りの品を買っているそうです。いつの間にか常連になっていた一里塚本業窯では、同じ作品でも釉薬の色の出方や流れ具合で少しずつ違った表情をもっているため、つい真剣に選んでしまいます。この日は、選び抜いてカップを購入。食卓にお気に入りの食器が増えていきます。「作家さんとの距離が近くて、お話しできるのも瀬戸のいいところですね。」



岡田さんの瀬戸のココが好き！

- ◎自然が豊か
自分たちが子どものころに遊んでいた環境と似ている。
- ◎無料で遊べる施設が充実
いろいろな年齢の子どもが楽しめる無料の施設があり、子育ての相談もできる。
- ◎やきものの歴史・文化
昔懐かしい雰囲気と、作家さんとの距離の近さがい。

一里塚本業窯

敷地内にある登り窯は市の指定文化財になっています。明治時代の仕事場では雰囲気味わいながら作陶もできます。

ファミリーで楽しむオススメスポット！

南公園



今回の撮影場所

広大な芝生広場があり、巨大遊具や健康器具で遊ぶこともできます。豊かな自然を満喫できる萩殿の森も散策できます。

DATA
西茨町ほか

せとっ子ファミリー交流館



今回の撮影場所

保護者の交流や育児サロンなど、子育てを支援し健全な児童の育成を目指す総合的な施設です。

DATA
宮脇町43 ☎87・3636

せとクルランド(交通児童遊園)



遊具や自転車などがあり、子どもたちの遊び場や交通ルールを学べる場として利用できます。

DATA
上松山町2-466(市民公園内) ☎48・2350

ノベルティ・子ども創造館



創作体験や士などの素材を用いたプログラム、ノベルティの展示などを行っています。お子さんはもちろん、大人も楽しめる施設です。

DATA
泉町74-1 ☎88・2668

瀬戸市でよりよく暮らしていくために、市内への移住や子育てを支援するさまざまな制度があります。その一部をご紹介します。

移住・定住を応援！ 問都市計画課 ☎88・2686

ムーブイン応援補助金、三世同居・近居応援補助金

築20年以上の中古住宅を購入して、子育て世帯などで市内へ転居される方や三世で同居または近居される方に応援補助金をお渡しします。
くわしくは市ホームページ「ビジネス・産業」→「都市計画・建築・開発」→「都市計画」をご覧ください。

空き家情報バンク

活用されていない空き家や空き店舗、空き工房などの情報をインターネットなどを通じて紹介する制度です。
くわしくはホームページ「せとで住もまい！きっかけサイト」をご覧ください。



子育てを応援！

ファミリーサポートセンター

問ファミリーサポートセンター ☎97・2525

仕事と育児の両立などのため「子育てのお手伝いをしてほしい」と思っている方と、「子育てのお手伝いをしたい」という方が会員になり、お互いに助け合いながら活動しています。

会員になるには、講習を受講する必要があります。くわしくは19ページをご覧ください。

せとっ子 子育て応援！予防接種ナビ

問健康課 ☎85・5511

お子さんに合わせた予防接種スケジュールを自動で作成し、接種日が近づくとメールでお知らせします。子育てに関する情報も提供しています。

http://seto.city-hc.jp/



子育て総合支援センター(せとっ子すくすく相談)

問せとっ子すくすく相談 ☎88・2636

子ども・子育ての総合窓口です。相談員(保健師・保育士など)が各種相談に応じるほか、子育てを支えるサービスの案内や子育て情報の提供も行います。

日時 平日(年末年始を除く)午前8時30分～午後5時15分
場所 子育て総合支援センター(市役所2階 子ども未来課内)



保育園で遊んでみよう！

問子ども未来課 ☎88・2637

公立保育園を中心とした各保育園では、未就園児と保護者を対象に、園庭で自由に遊べる園庭開放や育児サロンなどの子育て支援事業を行っています。

くわしくは市ホームページ「くらしの情報」→「子育て・教育」→「子育て支援」→「保育園でのいろいろな子育て支援」をご覧ください。



仕事と子育てを両立できる

その環境がここにはあります。

ツクリテにやさしいまち。

4年前に名古屋市から移住し、ご自宅で陶芸の工房を構える村井さん一家。陽子さんは大学時代に陶芸を学びました。大介さんは元サラリーマン。陽子さんと知り合ってから陶芸を始めたそうです。それまでは、陶芸に興味はあったものの、まさか自分の職業になるとは思っていなかったといいます。

瀬戸市に移り住むきっかけは、ガス窯を譲り受けることになったことだそうです。「ガス窯が置ける家を探していたら、瀬戸市で良い物件が見つかったので引越すことに決め

ました。住んでみると、作陶に必要な材料も手に入りやすいし、同業の仲間との繋がりも多く、暮らしやすいです。」と話す大介さん。また、「県外へ作品を出展することも多いので、高速道路のインターが近くて便利です。」とのこと。

現在では、大介さんは陶芸一本。2人で工房を立ち上げ、作陶活動をしています。「品野陶磁器センター」と銀座通り商店街の「galleryもゆ」でatelier jucaの作品を見ることができます。また、6月29日(金)から7月9日(月)まで、銀座通り商店街の「かわらばん家」で作品展を行うそうです。

村井さん一家



大介さん 陽子さん 草太くん
大介さん・陽子さんご夫妻と草太くん(3歳)。大介さんと陽子さんの出身はそれぞれ三重県松阪市と名古屋市。ご夫婦ともに陶芸家としてatelier jucaという工房名で活動中。

窯の中には、大介さんのシンプルで洗練されたデザインの作品と、陽子さんのかわいらしい作品が焼き上がっていました。2人が作業する工房はやきものの優しい質感とにおいて、温かな雰囲気包まれています。



村井さんの瀬戸のココが好き!

- ◎ ツクリテにやさしい
作陶の材料が手に入りやすく、同業の仲間も多い。
- ◎ ゆったりした環境
岩屋堂公園など、自然豊かな場所がすぐ近くにある。
- ◎ 子育てしやすい
困ったときはすぐに相談できて、遊べる場所もたくさんある。

ゆったりした環境がお気に入り。

瀬戸市の好きなのは、ゆったりしているところと答えてくれた陽子さん。「自然が多く、子育てにはとても良い環境です。岩屋堂公園にはよく遊びに行きます。ホタルが飛ぶ時期は毎年見に行っています。そんな自然の中で過ごせることをとても嬉しく思っています。」と話してくれました。家から近いということもあり、夏にはお友達を招いて岩屋堂公園で川遊びをすることもするそうです。



天明ヶ滝の水しぶきと、森を抜ける風が涼しげです。

岩屋堂公園

子育てにやさしいまち。

わからないことはすぐに相談できるので助かっています。

陽子さんは、瀬戸市は子育てがしやすいまちだといいます。「せとっ子ファミリー交流館では、子どもを通してほかの子育て世代の方と交流することができて、子育ての息抜きになってとても助かりました。保育士の先生もいるので、わからないことがあったらとりあえず行く、という感

じでしたね。子どもが小さいときは、せとっ子ファミリー交流館でサークル活動にも参加しました。サークルでは保育士の先生が、子どもとの遊び方を教えてくれました。サークルの仲間たちとは今でもつながっています。」と柔らかな笑顔で話しました。

ファミリーで楽しむオススメスポット!

岩屋堂公園



今回の撮影場所

新緑、ホタル、天然プール、紅葉、瀬戸大滝など、四季を通じて自然あふれる瀬戸の奥座敷です。

DATA
岩屋町

プレイルーム



乳幼児と保護者が、さまざまな遊具で自由に遊ぶことができます。

DATA
川端町1-31(やすらぎ会館2階)
☎84・2011